



3年学年だより

発行日：平成 29 年 10 月 14 日（土）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一

NO. 5

南高附属中学校開校記念日に寄せて

校長 磯部 修一

平成 23 年 10 月 1 日は中高一貫教育校「横浜市立南高等学校附属中学校」が開校した日です。そして平成 24 年 4 月 1 日には本校への期待が込められた開校宣言がなされ、実質的に教育活動が始まりました。

『横浜市立南高等学校との一貫教育により、高い学力と豊かな人間性をはぐくみ、高い志と幅広い教養をもって世界で活躍できる人間を育成する中学校として発展することを期待し、ここに開校を宣言します。』

（開校宣言の一部）

目指す学校像

- 国際社会で活躍するリーダーの育成を目指す学校
- 6年間の一貫教育で健全な心身をはぐくむ学校
- 質の高い学習により、高い学力を習得できる学校
- 生徒が互いに切磋琢磨し、常に活気に溢れている学校

「学校生活満足度調査」の結果（平成 29 年 7 月実施）

○学校生活に満足	94.7%	（神奈川県 <small>の</small> 公立中学校	70.2%）
○学校の授業に満足	94.9%	（神奈川県 <small>の</small> 公立中学校	60.6%）
○クラスの友だちに満足	94.9%	（神奈川県 <small>の</small> 公立中学校	80.0%）
○部活動に満足	89.5%	（神奈川県 <small>の</small> 公立中学校	64.6%）

※神奈川県のデータ→平成 22 年度ベネッセ調査結果

開校 6 年目となる今年は、南高附属中 1 期生が高校 3 年となり、中高一貫教育校で 6 年間を過ごした生徒たちが南高を巣立っていくこととなります。高校から入学した生徒たちと共に切磋琢磨し、互いに高め合える 3 年間は、より豊かな成長につながる時間になるでしょう。

これからも中高一貫体となって、開校宣言で期待されている高い学力と豊かな人間性をはぐくみます。

南高祭をふりかえって ～中学最後の南高祭～

9月8日(金)に南高祭舞台の部、9日(土)および10日(日)には展示の部が行われ、保護者の皆さまをはじめ、たくさんの方々にご来場いただきました。ありがとうございました。

舞台の部の花の章では、夏休み前から練習してきた『栄光の架け橋』を学年全体で歌いました。本当に合唱が大好きな4期生です。本当に感動的な素晴らしい合唱でした。さすが3年生！！

展示の部では、夏休み前に内容とタイトルを決定し、夏休みが明けてから展示の部実行委員を中心に学活でのクラスの話し合い、3日間で本番当日を迎えました。準備期間中にも、お互い様々なアイデアを出し、思考錯誤を繰り返しながら、4期生は3年間の学びを来てくださるお客様に楽しんで喜んでもらえるような展示を目指しました。各学級とも内容はもちろんのこと、教室の装飾も工夫し、中学校最高学年にふさわしい展示を披露できました。2年生の頃とは違った展示となり3年生として確実に成長しているのだなど、とても嬉しい気持ちになりました。

学級の取り組みだけでなく展示の部、舞台の部の両委員会活動も、中学校最高学年としてしっかりと責任を果たしてくれました。中学校展示のビデオ作成やメインアリーナの素晴らしい垂れ幕の作成や装飾をはじめ、委員会活動の運営も頑張りました。3年生として頑張ったからこそ、それ以上に高校の先輩方が南高祭全体の枠組みや事前準備に尽力してくださっていたことに様々気がついたことでしょうか。今年の頑張りをいかして、来年度以降、高校生の立場から中学生を支えてくれることを心から願います。

1組『教授の遺した数式』

準備のときにクラスのたくさんの方が委員に次の行動を聞いたり、残って手伝いをしてくれたり、みんな積極的にうごいてくれて感動したしクラスの展示に関わって良かったと思った。最初の話がまとまらなくてあせりを感じたりした。しかし、だんだんクラスのふんいきも良くなっていき、準備もちやくちやくとすすみ、本番には満足いく結果になった。委員があたふたしている中、クラスのみんなはついてきてくれて、3-1のみんな寛大さにも気が付くことができた。

このクラスで展示の部が出来て良かった。なぜなら、自分たちも楽しめたうえ、周りの人も喜んでくれて、やりがいを感じたからだ。体育祭で実行委員だったのにあまり実行委員らしいことは出来ず、クラス全体がおもいきり楽しめたとはいえなかった。今回でクラスが団結して行えてすごいよかった。しっかりといい感じで終わったのは頑張ったクラスみんなのおかげだと思う。なにより、実行委員や拡大委員などの展示のためにたくさん話し合ってくれた人に感謝したい。



2組『The light museum』

私は、1日目は忙しくて中々自分のクラスの出し物を見に行くことはできなかったのですが、2日目にシフトにも入ってみて思っていたよりお客さんは入ってきてくれるし、何だかんだ言いつつも楽しんでくれているようだったので、こちらとしても、とても嬉しかったです。「2組は満足度1位！」と誰かが言っていたけれど、本当にその通りだと思いました(笑)その時、改めてこのメンバーでしかできない、この2組のメンバーだからこそ出来たクオリティの高い出しものができて良かったな、楽しかったなと思いました。

今回の南高祭(展示の部)は最初の話し合いの時、意見がなかなかまとまらずどうなるのか心配だったが、だんだん意見がまとまるとクラス全体の雰囲気が盛り上がってきていピークに達した状態で本番を迎えることができ良かった。来てくれたお客さんが教室から出るとき「面白かった」と言ってくれる人が多く、その時今までやってきた準備の苦労が全て報われたような気がしました。この南高祭を通じてクラスの中の雰囲気が良くなったり、より一層絆が深まったと思います。



3組『筋肉にくに君 ~細胞レベルで体力、維持してる?~』

私は初めて拡大委員としてクラスの展示に関わりました。今まではただ、委員の人たちから指示を聞いて動くだけだったけど、今年は放課後に残ってクラスで何をやるか、どんな配置にするか、そしてそれをつくるためになにが必要かまで、いちから自分たちで考えました。その作業はすごく大変で、今までの委員の人たちに対する感謝の気持ちが生まれる共に、こんな大きなことに関われているということへのドキドキもありました。準備では、まだまだ指示が行き届かなかったりして迷惑をかけてしまうこともありました。思った通りの、それ以上の装飾が完成でき良かったです。当日は想像以上のお客さんが来てくれて楽しそうにしている、嬉しかったです。来年は高校生として、もっともっと頑張りたいです。

今年は舞台の部で装飾を行ったり、花の章のリハーサルで高校の委員の方がずっと準備やリハーサルをしている姿を間近で見ることができた。改めて、高校の舞台の部委員の方の努力や偉大さを感じた。今年は、独特な展示だったがクラスの協力のおかげで成功した。自分の役割を果たし協力する大切さを実感した。



4組『LIFE』

今年は、中学校最後の南高祭展示の部、舞台の部だったので思い出に残ることがしたいと思った。そこで、クラス展示がビデオに決まったときに、メインキャストをやってみようかなと思った。結果的に4組に来てくださった方々に楽しんでもらえたので自分にとってもいい思い出になった。舞台の部では、花の章で学年合唱をした。見ていた人たちも聞いていた人たちも一つになれたような気がした。軽音部や風の章、吹奏楽部など様々な盛り上がる発表がありとても楽しかった。

私はこの南高祭で学んだことは、物をつくる時は、そのものの需要を考える必要があるということです。例えば、今回の場合は、私たちより小さい小学生の子まで楽しめるようなビデオを作る必要があったと思います。だから、「もっと簡単に楽しめるようなビデオにすれば良かったな」と後から思いました。そして、校外の人、他クラスの人が見るのならば、ひとりよがりなものはだめだと改めて感じました。今回の展示は、去年より完成度が増したような感じがして、うれしかったです。来年も楽しい展示をつくれるよう、がんばりたいと思いました。



3年生対象 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果

平均正答率（％）

	国語A（知識）	国語B（活用）	数学A（知識）	数学B（活用）
本 校	95.0	94.4	92.2	82.0
全国（公立）	77.4	72.2	64.6	48.1

3年生を対象として4月18日（火）に実施された、平成29年度全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。実施された国語・数学の2教科において、平均正答率は全国（公立）を大きく上回る結果となりました。返却した個人票によく目を通し、間違えた問題は必ず書き直しをしておきましょう。調査問題は国立教育政策研究所のホームページからダウンロードすることができます。中学校3年間で学習した内容を振り返り、高校進学に向けて土台をしっかりと固めていきましょう。

CANADA 無事に行って帰ってきました。

無事に9月30日（土）～10月6日（金）カナダ研修旅行行ってきました。今年のカナダ研修旅行の目標は『PBC』でした。10月12日（木）1校時に解団式も終わり、残すは11月11日（土）のカナダ研修旅行報告会へ向けての準備となります。EGGの中間発表に向けての準備もありますが、ここは踏ん張りどころですね。次号でカナダ研修旅行の振り返りを載せたいと思います。

姫のおことば♡♡♡

南高祭では、来場して下さる方々を第一に、おもてなしの気持ちを持ちながら、自分たちもまた楽しんで取り組んでいました。全体を見まわしてリーダーシップをとる生徒、自分ができることを探して進んで行動する生徒、細かいところにも気を配りフォローをする生徒、どのクラスも目標に向かって一つにまとまっていた。

中学校最高学年として成長した姿を見ることができ、誇らしい気持ちになりました。